

9月度月例句会 会報・HP掲載句

九月詠草

兼題：鶏頭、鰭雲、当季雑詠

鶏頭の襞深みゆく日和なり	六川 里風
鶏頭の色三つほどが入り交り	城戸崎雅崇
長雨に淋しからずや鶏頭花	大仲 正敏
とんがつてとんがりすぎて鶏頭花	中山 知祐
鶏頭や熟女の集ひ声高き	佐藤 政百
無住寺の裏木戸守る鶏頭花	安井 正浩
故郷の空へひと刷け鰭雲	清家 静楓
波返す白き灯台いわし雲	石原 克己
鰭雲やうやく空の遠くなる	宮川 至剛
鰭雲追ひかけて行く観覧車	生江沢五風
鰭雲流れ流れて九十九里	森 邦彦
日一日落日惜しみ鰭雲	小野 信
夏過ぎて喧噪のプール水を抜く	川田 勝美
九時間の手術に耐えし夏の兄	眞田 宗興

以上